

「医療・介護資材SOSマッチングサービス実施にあたって」

新型コロナウイルス感染症のパンデミック化により、医療現場では医師、看護師をはじめ多くの関係者が感染者や感染を疑われる方に対処しています。これら医療関係者が感染してしまうと、院内感染を防ぐため、その濃厚接触者を含めて診療に従事できなくなり、医療機関が機能しなくなってしまう、医療崩壊へとつながります。したがって、医療を存続させるには医療者の感染防御が最重要であり、そのためには **PPE (Personal Protective Equipment)** とよばれる個人防護具の着用が必須です。**PPE** には、マスクをはじめ、ガウン、エプロン、ゴーグル、フェイスシールド、手袋など様々なものがありますが、そのどれもが感染防御に必要なものです。しかし、今、医療現場ではこれら **PPE** が絶対的に不足しており、報道されているように、代用品を手作りでまかない、急場をしのいでいるような状況です。

PPE の製造・供給がまず第一ですが、その代用になるようなものでも現場にとっては助かります。もともと医療用には作られていないものでも、使い方を工夫すれば **PPE** となるものも多数あると思います。また、**PPE** 以外にも医療現場で役立つと思われるものがあるかもしれません。この緊急事態を乗り越え、日常を取り戻すために、各企業のアイデアを生かし、貢献いただけることを期待しています。

楠岡 英雄（次世代医療システム産業化フォーラム座長代表／国立病院機構 理事長）